

せいしよくかん やぶにらみ

「生殖管腫瘍：藪叢病因論」

院長 西田 敬

「地球の歴史は地殻の層にあり、全ての生物の歴史は染色体に刻まれて居る」国立遺伝学研究所二代目所長、木原均博士が齋みじくも遺した言葉。

「想定外」などと克くも嘸いたな。仙台平野の表層堆積物で確認される厚さ数cmの砂礫の層、三層に及ぶ。地質学的調査では、ほぼ1000年周期で3度に亘って襲来した津波の堆積物。最も新しいのは約1000年前の貞観津波に因るものと判明。然らば、今年なんざあ、將に警戒警報を鳴り響かせる可き時期であった筈。剩え、霧島では新燃岳の噴火。予兆とは危惧しなかったの歟。

ダーウィン進化論の門徒にとって「人類も嘗ては卵生であった」事は然して受け入れ難い命題ではあるまい。然し、何時ごろ胎生哺乳類へ転じた歟に就いての証明は容易ではない。ヒトの遺伝子を具に検討して之を解明して見せたのがローザンヌ大学のBrawnand Dら。曰、ミルクの主成分蛋白カゼインをエンコードした遺伝子が出現したのは3億5000万年もの過去に溯る。翻って卵黄の主成分を創るピテロゲニン遺伝子を完全に用済みの偽遺伝子としたのは約7000万年前の白亜紀の出来事。詰り、人類は殆ど2億8000万年もの年月をかけて卵生から胎生哺乳類への変貌を為遂げた事になる。

何の為に？扱、其処じゃて、問題は。生物の予感。来る可きパンゲア超大陸の移動など地球の一大天変地異に備えた生残り算段の結果かも知れぬ。

種の保存の為とは申せ、繁殖手段の変更は雌性の生殖管に大変革を齎した。責務が異なる。従来は栄養物（卵黄）を身の裡に蓄えた受精卵の安全な移送。即ち、乾燥を防ぐ為に卵白で被覆し、更には孵化までを安全に保護する卵殻を付与して遣れば事足りた。が、今後はそうは参らぬ。何しろ通過する受精卵には自らを養う卵黄（栄養）が無い。細胞分裂すら覚束ぬ。栄養を如何するか。生殖管の外分泌機能の充実じゃ。卵管には接合子（受精卵）の培養液を、子宮内膜腺には胚盤胞（胚子）の栄養液を任せる。お、頸管粘液には酸性環境に喘ぐ精子の保護役を担わせよう。機能分担が明確化した。

処で、生殖管を三つに分割すれば上部と中部は腹膜と同じ中胚葉（中皮）由来、下部は皮膚と同様に外胚葉（上皮）由来となる。組織発生と機能の相違は腫瘍発生にも影響する。元来、皮膚の疣贅ウイルスで知られたHPVは外胚葉由来の扁平上皮に親和性が強く、内膜や卵管上皮の発癌にはまず、関与しない。HPVは感染に因る癌化は異形成、上皮内癌を経て浸潤癌へと段階的に進行する。子宮内膜には胚子が娩出されるまでの胎盤栄養を受ける為に着床する。増殖期から分泌期と変化して是に備えるが卵胞ホルモンや黄体ホルモンにより厳然と制禦されている。が、内膜では癌抑制遺伝子PTENがP53と同様に重視される。発癌だけでなく血管新生亢進作用もあり多段階的な癌化の鍵と目される。卵管上皮に類似した形態の癌を漿液性腫瘍とするのが組織型分類のWHOルールであるが、BRCA1やBRCA2それにP53など遺伝子発現性も酷似している。故、卵巣癌その実態は卵管癌の蔓延という見方が最近注目される。





〈最新画像診断 その26〉

画像保存通信システム編

放射線科部長 馬場 健吉

病院からフィルムが無くなりました!?:

済生会日田病院ではこの4月から画像保存通信システム(PACS:パックス)が導入されています。このシステムはレントゲン画像やエコー検査などの病院で使用される画像をコンピューター(データベース)に一括保存して、それを各外来や病棟で、コンピューター(クライアント)でみて診断するシステムです。

それぞれの診察医師からのリクエストによって、特定の画像データを探し出してクライアント側に転送することができます。

診察中にレントゲン・エコー・心電図など様々な検査をカルテや資料を探さなくても、すぐに検査結果を取り出すことができます。

また、各外来ではCT検査のあとすぐに3次元画像を作成できるシステムを導入しました。このため、救急の際の骨折や血管病変などをこれまで以上に正確に診断できるようになりました。

会計までの時間が短縮しました:

病院情報システム(HIS:ヒス)の導入は当院では4年前から行われています。受付システム、検査オーダーシステム、入退院管理システム、薬剤管理システム、医事会計システムなどの広範囲なシステムが含まれています。これらと画像を今回結びつけたことで、会計までの時間が短縮されました。

検査予約が一括管理されています。:

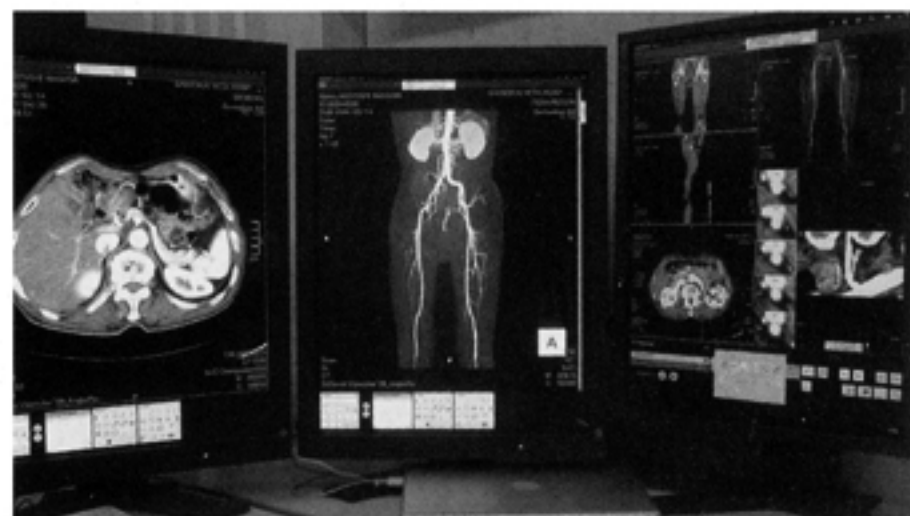
放射線科情報システム(RIS:リス)が今回導入され、それぞれの検査の予約から検査結果までの管理を行うシステムが完成しました。患者さんの情報や予約情報などの内容をHISから取得して、各検査

の一元管理をすることが可能になりました。このため、検査室に案内された患者さんの名前や生年月日の入力を行わず、すぐに検査を開始することができます。

いろいろな病院と連携できる?

画像診断の分野では大学病院に画像配信を行って診断できるシステムも整えました。専門の医師への診断依頼が可能となりました。

インターネットを介して、個人情報保護される形で、他の病医院との画像連携もまもなく行えるよう準備をしています。



〈読影用画像のコンピューター画面〉

最後に

日田・玖珠地区の多くの病院でフィルムレス(画像フィルムが無くなる状態)が主流になっています。患者さん自身が自分のデータをCDなどで持ち歩いて、専門医を受診する時代になりました。医用工学の発展とともに、持ち出される画像も高度化しています。当院でもこの流れに対応できる努力を継続しています。



看護部 だより

第2回

済生会日田病院
看護部

「緩和ケア認定看護師と緩和ケア」

緩和ケア認定看護師 松永 さゆり

さわやかな5月の風が心地よい季節になりました。

4月からのバトンを引き継いで、このページを担当します。

私は、緩和ケアの専従看護師として毎日患者さんの元へかかっています。「緩和ケア」とは読んで字のごとく広い意味では「疾患に伴う苦痛症状を緩和する」医療ですが、日本においてはまだ、がんの患者さんを対象としているのが現実です。

現在、日本においては2人に1人ががんにかかるといわれる時代です。緩和ケアは、がんと診断されてから、治療を受ける段階でも生じる様々な苦痛（身体的、精神的、社会的）をできるだけ緩和したり、人生や生への問いなどに耳を傾け、共に歩いていく、いわば24時間テレビでマラソンを走るときの伴走者のような医療です。

いままでの医療は、治療優先でこれらの患者さんが抱える様々な苦痛・苦悩はどちらかという軽視される傾向にありました。しかし、最近では治療を受けている段階か

ら「我慢は禁物！」という考え方で、痛みの治療や心のケアを積極的に勧めています。昔は「最期に使う薬」といった暗いイメージのある医療用麻薬も、種類や使用方法がずいぶん発達しています。適切に使用すれば生活の質を高めることのできるとても良い薬です。

私は、病院内では主に「痛み」について患者さんを訪問し、医療用麻薬などを用いてどのようにすれば痛みが少なく、その方らしい生活ができるかを考える役割を頂いています。また、痛みだけでなく他の専門職とも連携して患者さんのケアを考える「緩和ケアチーム」のマネジメントも行っています。

しかしながら、やはり人間の死亡率は100%…。緩和ケアチームが携わる患者さんは亡くなっていかれる方も多くいらっしゃいます。そのような方も最期までその人らしく生きることを支える医療ともいえる緩和ケア、最近では医療界でもその必要性が重要視されてきています。日々、患者さんから教わることばかりですが、微力でも何かのお役に立てればと思っています。緩和ケアに関すること、お困りのこと何でも結構です。お気軽にご相談ください。

相談窓口：がん相談支援センター
・各外来看護師（外来の患者さん）
各病棟看護師（入院中の患者さん）
となっております。



はじめまして

ドクター紹介

- ①氏名 ②担当診療科
③趣味・モットー ④私の健康法
⑤患者さんへ一言



- まる の のぶ ひこ
① 丸野暢彦 (H23.4.1着任)
② 麻酔科
③ 趣味はサッカーなど、たまに運動することです。モットーは特にありません。

- ④ 適度な運動をすること、飲みすぎない、食べすぎない、よく眠るなど心掛けています。
⑤ できるだけ、安全に、苦痛なく、手術が終えられるよう努めております。どうぞよろしくお祈りします。



- とう ない たつ お
① 藤内竜夫 (H23.4.1着任)
② 心臓血管内科
③ 料理・ピアノ・ゴルフ (うちっぱなしのみ)

- ④ エレベーターは使わない。1日8,000歩以上歩く事でしょうか。
⑤ 心臓血管内科の藤内です。医者5年目になります。まだまだ勉強中ではありますが、少しでもみなさんの健康のためによりよい医療を提供したいと思っております。



- なか お えりか
① 中尾絵里香 (H23.4.1着任)
② 心臓血管内科
③ 趣味は旅行 (休みがあればアクティブに動きます)

- ④ よく食べ、よく眠ることです。どこでもすぐ寝れます。
⑤ 医師4年目ですので経験値が浅く、不勉強な点があるかもしれませんが、日田の地域医療に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いします。



- くろ かわ ゆか
① 黒川佑佳 (H23.4.1着任)
② 腎臓内科
③ 趣味は模索中…毎日が充実していることを目指しています。

- ④ 長風呂。大分県には良い温泉が沢山あるようなので足を運んでみたいです。
⑤ 去年も10月まで毎週金曜日、透析室で勤務させて頂きましたが、今年からは常勤として勤務させて頂きます。笑顔が増えるよう頑張ります。



- かわ ぐち まさ き
① 川口勝輝 (H23.4.1着任)
② 研修医
③ 私のモットーは「出会いを大切に」です。大分での出会いも大切にしていきたいと思っております。

- ④ 私の健康法はよく食べ、よく眠ることです。食事と睡眠がストレスを解消してくれます。
⑤ 縁があってこの地で働けることになり、ありがたく思います。地域のみなさんのお力になれるよう頑張ります。これからよろしくお願いします。

【5月・6月の巡回診療日程のお知らせ】

地区名	診療日	場所	時間
東羽田高花	5月 10日(火)・24日(火) 6月 14日(火)・28日(火)	高花公民館	1:45~3:15
古後	5月 17日(火) 6月 21日(火)	古後生活改善センター	1:45~3:15

※身体のことでお悩みの方は、お気軽にお出ください。

*健康保険証、医療受給者証 (または高齢受給者証) を持参してください。

*病院の窓口で現金をお支払いいただくのと同様に有料です。

濟生会日田病院の「理念」と「基本方針」

理念 「濟生」の心を受け継ぎ、医療と福祉の充実・発展を通して、安心して暮らせる地域社会の実現に貢献します。

- 基本方針**
1. 生活困窮者支援事業を推進します。
 2. 信頼される救急医療体制を構築します。
 3. 関係機関との連携を図り、高度医療を提供します。
 4. 職員の協調と信頼によって、チーム医療の充実を図り、患者本位の医療を実践します。
 5. 中核病院として、地域の医療水準の向上に努めます。
 6. 総合的な医療の質の管理を行い、健全経営を目指します。